

サッカーがもたらす影響力

サッカーは今やオリンピックを凌ぐ参加国の多い世界的競技であり、観る人たち応援する人たちの全てが快適に楽しめる環境を保つように運営することを関係者一同で心掛けています。

従って、あらゆるコンプライアンスを重視することは勿論のこと、あらゆる国や人々を尊重した上で、フェアな精神と肉体でルールに基づいて戦うことで感動と共感が生まれるのです。

そこには政治、宗教、人種国籍に拘わらない人間尊重があるのみです。両手も道具も使わない平等な条件で、90分を体力、気力、戦略、判断力、連携プレーで戦い、多くのチームとのトーナメント戦をそれぞれ課題を持って皆で戦い抜くところにワクワクする面白さと楽しさがあります。

企業は今やあらゆるコンプライアンスを遵守して技術開発、コスト戦略、販売戦略などに凌ぎを削って国際競争を行ってきています。サッカーも全く同様に或いはそれ以上の国際感覚を

持って、毎試合キメ細かい戦略をもって課題認識し問題対応を繰り返しており、そういう意味では、世界ネットワークの最先端事業を行っているといえます。

そしてファンやサポーターや地域の皆さんやスポンサーの皆様は観戦して喜び楽しんでもらうだけでなく、積極的に子供から大人までの皆さんにサッカーをプレーする楽しみを知っていただいたり、健康維持の体操をすることをお教えして広く社会貢献活動を社業として取り組んでいます。

現在、シーズンの約3分の1を終えて、大木監督の戦略に沿ってますますの滑り出しで、これから中盤戦を確り戦っていきます。出来るだけ多くの皆様に観戦して楽しんでいただけますよう、今後は更にハーフシーズンチケットの販売を致します。月2回のホームゲームですから、ご家族で月2回観戦とお食事にお出かけ頂くスタジアム文化が出来上がるのを楽しみに、一同で頑張っています。



写真：©Kaz Photography/FC Gifu

